

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	グループホームふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。 施設の「ふくろう祭り」には近隣へチケットを配布するなどして、太鼓、ダンスなど、催し物を通じ交流している。 近所の公園の散策、美術館、喫茶店などに立ち寄り、日頃から交流している。 地域伝統の「鬼祭り」には、鬼が施設に立ち寄るなど、格別の交流がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 公職者、地域包括、地域の役員、家族、など三十名近い参加者で、状況報告、行事活動報告、ヒヤリハット、苦情、活動予定など多岐にわたり、議題として運営されている。 会議後、食事会や、行事を通じ、意見要望が出やすくなる雰囲気づくり、実際に利用者の姿を見聞かして、提案、意見が出しやすくなる運営がされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市、社協などの研修に参加している。 日常的に関連部署とは連携、相談など交流している。 地域広域連合とも連携、情報交換、交流を深め、運営に反映している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置がある。 面会時、運営推進会議参加時、行事参加時、プラン変更時など機会をとらえ、要望、意見の収集を行い、ケアに反映している。 毎月の「ふくろう新聞」を発行して、施設の状況、行事、介護の知識など情報の共有を図っている。家族同士の連携を深めるイベントにも取り組み、職員、利用者の家族（孫の代まで）の連携融和を図る取り組みがある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	